

公益社団法人 私立大学情報教育協会
第5回産学連携人材ニーズ交流会
開催要項(案)

日時：平成26年3月10日(月) 13:30~17:00

場所：新宿住友ホール：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビルB1

地下鉄大江戸線「都庁前駅」A6出口直結 各社線「新宿駅」徒歩7~9分

1. 開催趣旨

成長社会から成熟社会への大きな変化が始まっています。これまでの成功体験モデルやシステムへの依存から新しい価値創造を目指した社会へ脱皮することが避けて通れなくなっています。

このようなイノベーションをもたらす時代を切り拓いていくには、常識に囚われることなく、さまざまな領域から多様な情報や考えを組み合わせ、新しい視点を提案して挑戦し行動できる実践的な人材力が要請されます。

そこで、今回はイノベーションのための人材育成を国及び産業界・地域社会との連携、大学間連携の中でオープン化していく仕組みについて理解を深め、私立大学としてどのように情報通信分野の教育改善に活用できるかを考える場にしたいと考えております。

2. プログラム

13:30 開会挨拶 向殿政男氏 (公益社団法人 私立大学情報教育協会会長)

産学連携人材ニーズ交流会の目的、今までの取り組み経過、今後の進め方等について報告・説明します。

基調講演

産学・大学間連携によるオープンイノベーション教育の仕組みを考える

國領二郎氏 (慶應義塾 常任理事 総務省実践的ICT人材育成推進委員会主査)

平成24年度から総務省の事業としてスタートした「今後育成が望まれる実践的ICT人材像とその育成に向けた産・学・官連携の取り組み」の構想を踏まえ、私立大学としてどのように教育改善に活用できるかを考えます。

事例紹介と討議

地域の課題解決人材を育成する起業家養成講座の取り組み

大谷真樹氏 (八戸学院大学 学長)

地域の課題を発見・解決する流れを実践することで、ビジネスの現場で活用できる実学を身に付けることを目的とした授業モデル、「起業家養成講座」タウンコンセプトワークの取り組みについて事例紹介いただきます。

オープンイノベーション教育の仕組みを考える討議

今後育成が望まれる実践的ICT人材像について、事例紹介いただいた先進的取り組みおよび課題を踏まえ、私立大学としてどのように教育改善に活用できるかを討議します。

産学連携教育の実践力評価基準活用ガイドの紹介

大島信幸氏 (独立行政法人 情報処理推進機構 イノベーション人材センター長)

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) から産学連携による実践的講座で学生の実践力修得を評価する評価基準モデルの提案について紹介いただきます。

15:25 休憩 (15分)

大学教育に対する卒業生との意見交流

大学教員の現場研修協力企業の若手社員 (入社3年程度) から大学教育に対する感想や意見を体験に基づいて披露いただき、大学教育の改善に向けた意見交流を行います。

大学教員の企業現場研修の取り組み報告

大学教員の現場研修を充実し拡大・向上させるための視点について、実施状況の報告を行い、受け入れた協力企業から充実し拡大・向上させていくための提案いただきます。

学生を対象とした連携事業「社会スタディの場」の取り組み報告

本年度から開始した、社会スタディの場の実施状況及び学生との対話内容について報告し、次年度に向けた取り組みを協議します。

17:00 閉会

17:15 情報交流会 47階 スカイルーム会議室 「Room 2」 (無料)

(60分) 産学連携による人材教育を実現する意見交流と理解・認識を深める場として設定します。簡単な飲み物等を用意しておりますので積極的なご参加をお願いします。